



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458

議会事務局 TEL0470-55-4804

第120号



町内外から注目を浴びている狩猟エコツアー（横根山中）

< 12月定例議会 >

は
や
わ
か
り

議案・補正予算	2・3ページ
いじめ防止対策推進条例を策定	
一般質問	4～6ページ
三国・田久保・笹生（正）・緒方・鈴木の5議員	
議員全員協議会	7ページ
広域ごみ処理施設 館山市が離脱を表明	
議会活動トピックス	8ページ
安房3市1町議会議長会研修会へ参加	

学校・家庭・関係機関の連携

いじめのない社会の実現に向けて

12月定例議会は、会期を12月6日から9日の4日間として開催した。町長提出議案は条例の制定1件、条例の一部改正4件、工事請負契約の変更1件、平成28年度補正予算4件。議員発議では、地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書提出1件。請願については、汚染土壌・産業廃棄物最終処分場はならない町宣言を求める請願が提出され、12月8日に産業常任委員会を開催し、審査を行った。今定例会に提出された全ての議案・請願を可決・採択した。また、一般質問には、三国・田久保・笹生（正）・緒方・鈴木の5議員が質問席に立った。

いじめ防止対策 推進条例を制定

主な質疑

「鋸南町いじめ防止対策推進条例」は、いじめ防止対策推進法及び千葉県いじめ防止対策推進条例に則り、学校・家庭・地域その他関係機関が連携していじめのない社会の実現に向けた対策などを定めたもの。

条例の主な内容は、基本理念や、町の責務及び保護者や学校等の役割、さらには、いじめ問題対策の連絡協議会及び調査会の設置について規定している。

問 いじめに対しては感性の問題が大切である。初めに情報を受けた先生が、いじめと認識するかその判断が大切、どう注意しながら条例が作られているのか。

教育課長 条例が制定された後に、国・県のいじめ防止基本方針を参考に鋸南町いじめ防止基本方針を策定します。その中で具体的に決めていきます。

問 文科省への答申では、

上位法であるいじめ防止対策推進法は形骸化されていると盛り込まれている。上位法が改正されたら、条例も改正されるのか。

教育課長 法では3年を目途に見直すとあります。鋸南町の基本方針についても必要に応じて見直していきます。



一般会計補正予算の概要

補正額 (補正後総額)	主な内容
5,207万2千円 (41億5,602万1千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・保田総合センター補修工事（外壁補強） ・経済対策臨時福祉給付金 ・給湯整備工事（道の駅保田小学校校舎棟2階） ・遊具設置工事（鋸南小学校）

補正予算の主な内容

一般会計補正予算（第3号）及び国民健康保険特別会計補正予算（第2号）、介護保険特別会計補正予算（第2号）、水道事業会計補正予算（第2号）について、全員賛成で可決した。

一般会計補正予算の主なものは、総務費で保田総合センター補修工事、外壁補償費653万2千円の追加。民生費では経済対策臨時福祉給付金給付事業に3,350万2千円。商工費では道の駅保田小学校校舎棟2階の給湯整備工事216万円。



岩井袋トンネル

教育費では鋸南小学校の遊具設置工事に129万2千円などが計上された。また、債務負担行為では地域おこし協力隊事業800万円が追加され、28年度中に2名を募集する予定。

補正予算の主な質疑

問 トンネル長寿命化計画策定業務委託の詳しい内容は。

建設水道課長 町内5カ所のトンネルの劣化を調査して、保守の優先順位をつけるものです。

問 28・29年度で実施する地域おこし協力隊事業について、これからのスケジュールはどうか。

総務企画課長 28年度中に観光分野と農業分野、それぞれ1名ずつの2名を募集し、29年4月以降に雇用するものです。これから募集要項を作成して、ホームページなどで募集を行って参ります。

「汚染土・産廃最終処分場

いらぬ町宣言」を

求める請願採択

海と緑豊かな自然に恵まれた鋸南町の資産を次代に継承していくため「汚染土壌・産廃廃棄物最終処分場」が鋸南町汚染土埋立反対協議会より議会に提出された。

請願の審査については産業常任委員会に付託することに決定し、12月8日に産業常任委員会を開催した。委員会での審査結果は、賛成多数で「採択すべきもの」となった。

翌9日の定例会最終日に渡邊信廣産業常任委員長から審査報告が行われ、質疑は無く3名による討論があり、賛成多数で請願を採択することに決定した。請願が採択されたことから、白石町長より発言を求

められ、議場において「汚染土壌・産廃廃棄物最終処分場はいらぬ町宣言」が行われた。

反対討論

汚染土壌処理施設建設事業は県に対し係争中であり、町内にも汚染土壌は存在する。産廃はあらゆる事業活動で発生するもの。持ち出しは良いが、持ち込みはダメというのほどうか。

笹生正己議員

賛成討論

請願が採択され、町が宣言を行うことに大きな意義があると考える。

三国幸次議員
自然環境を孫子の代まで守ることが我々の使命であると考える。

緒方猛議員



鋸山から望む美しい鋸南町

地方議会議員の厚生年金 制度加入を求める

「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める」意見書については、提出者小藤田副議長、賛成者は緒方総務常任委員長ほか3名として提出され、全員賛成で採択された。

この意見書は、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものとするのが、議員を志す新たな人材確保につながるの観点から法整備を早急に実現するよう要望するもの。衆参各議院議長、内閣総理大臣等に意見書を送付した。

ここが聞きたい

いっぱん質問

笹生 正己 議員

教員の過労や生徒のいじめ

緒方 猛 議員

高齢者交通事故対策など

田久保 浩通 議員

住民の防災意識について

鈴木 辰也 議員

防災対策について

三国 幸次 議員

アルコールの害について

12月定例会には、5名の議員から一般質問が行われました。

問 アルコール対策の基本法であるアルコール健康障害対策基本法が2013年12月に作られました。そして、今年5月に、国の健康障害対策推進基本計画が閣議決定されました。アルコール依存症に関する問題を、個人の問題のみと捉えず、社会全体の問題と捉え、必要な知識や医療、回復のための支援をすることが必要です。鋸南町でのアルコールによる健康障害の状況はどうか。

町長 厚生労働省が実施した「国民健康・栄養調査」の結果では、全国で、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合は、男性15.8%、女性8.8%となっております。鋸南町では、生活困窮者の中に数名、アルコール依存が原因で保護の対象になったと推測される方がおります。

問 アルコール健康障害に対する対応の現状はどうか。

町長 鋸南町では、未成年者の飲酒についての相談事例はありませんが、それぞれの学校において、生活習慣病予防の学習の折には、必ず薬物・アルコ



三国幸次 議員

アルコールの害から健康を守る
健康障害対策に力を

ールの害も含んで学習しております。妊婦の飲酒については、妊娠届時に問診をして確認し、乳児健診についても、見落としがないよう、注意を払っております。

問 アルコール健康障害対策に力を入れていく必要があると考えるが。

町長 「飲酒に伴うリスク」や「アルコール依存」などについて、正しい知識を普及していくことが、非常に重要だと考えております。地域における相談拠点の保健所との連絡を密にし、関係機関と連携しながら相談、支援に努めていきたいと考えております。





田久保浩通 議員

地域住民の防災意識を

どう高めていくか

問 町では津波ハザードマップの全戸配布、防災訓練を実施するなど町民の防災意識向上に取り組んでいるが、まだまだ不十分に思う。今後さらに行政として町民に対し、どのように啓発・周知の徹底を図っていくか。

町長 町民の皆さんへの防災意識向上の取り組みは大変重要なことと考えています。防災教育や訓練、各種集会等あらゆる機会をとらえて、分かりやすい広報・啓発に取り組む、防災意識の向上に努めて参ります。

問 防災意識向上の取り組みは早ければ早いにかしたことはない。小・中学校でも当然年間計画を立てて実施していると思うが、鋸南町では防災教育にどのような取り組みをしているか。

教育課長 それぞれ「防災マニュアル」を作成しており、毎年度、安全指導計画を立て、それに沿って避難訓練等を実施しています。中学校では、9月と10月を中心に校舎3階に避難する訓練、また社会科では自然災害の授業を行っている。体育科では安全に関する分野の中で避難する際の持ち物につ

いての勉強をしています。今後も危機意識をもって、子ども達の防災教育に努めて参ります。

問 高齢者の中には歩行困難な方もいる。高齢者の身の安全をどう守っていくかが大きな課題と考えるが。

総務企画課長 特に地域防災計画に当たっては避難行動要支援者名簿の作成。鋸南苑さんとは災害時における受け入れ態勢の契約を締結しました。一人でも多くの方の安全・安心を考えた町づくりを進めていきたいと考えております。



避難訓練 (保田地区)



笹生正己 議員

いじめ防止の把握は

子ども達のアイデア活用を

問 教職員の勤務時間について、実情をどう把握し、どのように考えるか。

教育長 県の実態調査では、勤務時間を超えた時間は、中学校で1日平均2時間45分で、延びている傾向です。先生方の適正な身体・時間の管理・把握に努めます。

問 制約される時間が多く、翌日の授業準備にも支障があるようだが。

教育長 先生方の負担軽減を図るため学校、家庭、社会の連携が重要と考えます。「地域コーディネーター」を配置し、授業や生徒指導にゆとりをもつて対応できる体制整備に努めます。

問 いじめの例を聞く事がある。子ども達のいじめについてどのように把握しているか。

教育長 普段から生徒の観察に加え、アンケート調査の実施、またスクールカウンセラーによる相談や、学期毎に巡回教育相談等々を実施し、いじめの早期発見に努めています。なお、中学では校長自ら道徳の授業を行い、生徒からもいじめに対する問題意識が集約され、生徒会による「全校いじめゼロ

宣言」が7月に採択されました。

問 鋸南町の特産品について、町の考えを伺う。

町長 商品開発を積極的に推進するよう①保田小の加工所の活用支援②雇用創造協議会による特産品の開発③農・水産業と商工業者の連携による商品開発などを支援します。また国・県の補助事業の活用や、町独自の支援策を講じます。

要望 子ども達にも考えてもらった、地域を知る良い機会にもなるし、子ども目線での発案に、良いアイデアやヒントが出てくる可能性もあるので、検討願いたい。



鋸南中・学校長の道徳授業



緒方 猛 議員

交通安全の勉強会を

広域ごみ処理建設進まず

問 全国統計で75歳以上の四輪車事故が10年前の約2倍の52%に。県下では館山署管内は異常に多い。裾南町における免許証返納は、買い物や通院など生活上で困るこの現実をどう思うか。

町長 過疎の進む地域ではマイカーに頼らざるを得ないと認識しており、車に代わる高齢者の足の確保について、地道な支援が必要と考えております。

問 一瞬の判断間違いが一生の悲劇となる。互のハツと、ヒヤツとした事例を基に警察にお願いし、定期的に意識向上の勉強会も行ったらどうか。

町長 認知症検査など免許更新が厳しくなりますが、3年に一度だけでは不十分と思う。高齢者の交通安全の取り組みとして警察などと連携し、体験実践型の交通安全教育を検討して参りたいと考えております。

問 いつごろから出来るのか。

総務企画課長 依頼内容を検討し29年度から出来るようにしたい。

問 広域ごみ処理施設建設の土地の買収を2度にわたり断念し合計2億3千



万円強支出しているが裾南町の負担は

町長 地質調査、環境アクセス、用地買収費などに支出しており、裾南町の分担金は2千921万円です。

問 裾南地区の大谷クリーンセンター焼却施設の耐用年数は。

町長 同施設は稼働後34年が経過、建物などは50年程度とされています。平成9年の法改正で、11億2千万円で大規模改修を行い、加えて毎年5千万円程かけ、維持管理を行っています。

問 白石町長は当該組合の理事の立場で、土地買収の断念に対しどのような見解を持っているか。

町長 非常に残念な結果であると思っています。2候補地とも原因がある訳で、選定にあたっては注意深く進めて行くことしかないと考えております。



鈴木辰也 議員

飲料水兼用の耐震性貯水水槽の整備を

デジタル戸別受信機の整備は計画的に

問 町内に設置されている防火水槽の数、その内有蓋の防火水槽の数は。

総務企画課長 防火水槽は102カ所、その内有蓋は49カ所です。

問 無蓋の防火水槽については、蓋をする工事を行うべきでは。

総務企画課長 管理上蓋があつたほうが有効であると考えています。

問 今、飲料水と兼用できる耐震性の防火貯水水槽があります。これは、水道の配水管路に設置されていることから

普段は水道管の一部として使用し、常に清浄な水が流れています。災害時等で水道管が破損した場合には、自動的に遮断装置が作動して貯水槽内の水が飲料水や消火用水として確保できます。このような防火水槽を整備する考えは。

総務企画課長 今後検討していきたいと思ひます。

問 消火栓の蓋が黄色に塗られている所と塗られていない所があるが、どうしてなのか。

総務企画課長 新しい物については緊



飲料水と兼用の耐震性防火貯水水槽

急時に対処しやすく、分かりやすいように黄色く塗ってあります。

問 既存の蓋も分かりやすく塗るべきだと思ひますが。

総務企画課長 すべて塗るのが良いのか状況を見て対処します。

問 デジタル戸別受信機の整備は、平成34年11月30日までに行わなければならぬ事業です。平成29年度より予算立てをし、しっかりと計画的に行つて欲しいが。

総務企画課長 戸別受信機は必要不可欠なものと思ひます。補助事業、起債等有利なものを探して対応していきたいと思ひます。

広域ごみ処理施設



館山市が離脱を表明

12月27日午前に鴨川市で

開かれた安房郡市広域市町村
圏事務組合議会の議員全協議
会で、金丸謙一館山市長が安
房3市1町で進めてきたごみ
処理広域化から離脱すること
を表明した問題で、同日の午
後に本町議会議員全員協議会
を開催し館山市長の出席を求
めた。市側から「市の財政状
況を考えるとごみ処理広域の
継続は困難で、市議会からも
了承された」との離脱に至っ
た事情など直接説明を受けた。

主な質疑

問 さちんとした手続きを経
ないで、離脱表明がなされて
いるのでは。

館山市長 9月下旬の市議会
全協で説明後、10月に広域の
理事懇談会、理事会、議会と
段取りを踏んで説明させてい

ただいた。

問 離脱しないための条件を
伺いたい。

建設環境部長 広域ごみ処理
施設の供用開始が平成40年
まで伸びると、現有施設を大
規模改修しないと持たなくな
り、広域ごみ処理施設の負担
金を併せて支払うことは、財
政上非常に厳しいからです。

問 離脱することで2市1町
に係る財政への影響は非常に
大きくなる。離脱しないため
の検討資料を出して欲しいが。

総務部長 個々の事業費の積
み上げ、国庫補助などの特定
財源を踏まえて今後20年間
の財政推計を行った中での判
断を説明したところです。

要望 館山市はこの地域の中
核である。しっかりやって欲
しい。

議会運営をテーマに

議員研修会を開催

1月31日、鋸南町議会議員

研修会が役場委員会室で開催
され、議員及び千葉県町議会
議長会事務局職員、町議会事
務局職員の15名が参加し研
修を積んだ。

講師として、全国町村議会
議長会から議事調査部副参事
の小西正太氏が来町。研修会
ではテーマを「議会運営の基
本」として、地方議会関係団
体の上位機関から講師を迎え
ての約2時間にわたる研修会
開催となった。

主な内容は、本会議場での
一般質問や議案審議における
議員の質問や質疑のあり方に
ついてや、その基本的な差異
や運用について。

また、全員協議会の活用と
運営では、地方自治法の改正
に伴い、協議・調整の場とし
て会議規則を整備した取り組

み方など。

さらには「通年議会方式」
「議会報告会の開催」など最
近における全国的な参考事例
を示し、議会改革にかかる課
題など多岐にわたっての研修
となった。

講議の後に設けられた質疑
応答では、議員からも活発に
質疑が行われ、実りある研修
会となった。



講師の小西正太氏

10月臨時会の概要

10月臨時会を10月17日に
開催。町長提出議案は工事請
負契約の締結1件で、全員賛
成で可決した。

契約の内容は、鋸南学童保
育所建設工事で、契約金額が
5,724万円と5千万円を
超えることから、議会の議決
が求められた。



議会活動トピックス

安房3市1町議会議長会研修会



11月15日、中央公民館で安房3市1町的全議員対象に研修会が開催され、千葉県経済の動向や国保広域化と題した講演が行われた。

千葉県町村議会議長・副議長自治研修会



11月18日、伊藤議長・小藤田副議長が県町村議会議長会の研修で北方領土等自治問題の講演に参加。

国際交流で米国の学生が議場を見学



1月12日、外務省国際交流事業（ようこそ鋸南プロジェクト受入）で招へいた米国の大学生ら9名が、鋸南町を表敬訪問し、議場を見学。

鋸南町農業祭議会議長賞



1月15日、第37回鋸南町農業祭が道の駅保田小学校で開催され、馬賀あつ子さん（江月）の「菜の花のナムル」が議会議長賞を受賞。

議会の日誌

11月15日 安房3市1町議会議長会
議員研修会
11月21日 議員全員協議会
議員総会
11月28日 議会運営委員会

12月6日～9日 平成28年第6回議会定例会
12月8日 産業常任委員会
1月19日 広報特別委員会
1月31日 鋸南町議員研修会

編集後記

平成28年度の入学者は、鋸南小学校42名、鋸南中学校43名です。この少子化で、今や中学の部活動やバレー・空手などのスポーツ少年団の活動が難しくなっています。

このことは地域の行事にも表れ、比較的人口の多い竜島区でも、来年から中学生が担ぐ神輿が中止になり、御船の引き手も、町外の高校生が増えています。

最近の統計によると、この5年間で佐久間地区と同程度の人口が減り、町民の平均所得は県下54市町村の中で下から2番目です。

このままでは、ある研究機関の発表のように、全国の市町村のうち、鋸南町を含めた約半数が2040年までに消滅する可能性も心配されます。

今後、明確な政策で、若者を郷土に引き留める産業育成が必要です。

小藤田